

DX宣言書

経営理念

「ものづくりへの真摯な姿勢と革新志向で、お客様の課題を解決し、
地域社会に貢献する製品の創出」

金海鉄工株式会社
代表取締役 新井 善和



DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ 社内で蓄積した技術やノウハウを持続的に継承することで、全社員が働きやすく、やりがいを感じられる職場環境をつくります
- ◆ 全社員がリアルタイムに現場の状況を把握でき、紙に頼らずスムーズに情報が行き交うスマートな工場を目指します



DX戦略・施策

＞フェーズ1(現在～2026年3月)

戦略：「DX推進に向けた計画策定・体制整備とバックオフィス業務のデジタル化」

- 施策
- 現状の業務の流れを可視化するとともに、課題を整理し、具体的な実行計画を策定します
 - 実行計画を推進するため、各部門でDX推進責任者を任命し、推進体制を整備します
 - 各種帳票のペーパーレス化と社内プラットフォームの構築により、バックオフィス業務をデジタル化し、業務の属人化を解消します

＞フェーズ2(2026年4月～2027年3月)

戦略：「社内で蓄積した技術・ノウハウをスムーズに承継できるデジタル教育基盤の整備」

- 施策
- デジタルツールの活用により、作業工程や作業手順を標準化し、多言語化にも対応することで、新入社員や技能実習生の効率的な技術習得をサポートします
 - 熟練工の技術やノウハウをマニュアル化し、社内プラットフォームで全社員が共有できるデジタル教育基盤を構築します

＞フェーズ3(2027年4月～2028年3月)

戦略：「生産管理や在庫管理等の基幹業務のデジタル化とデータの利活用」

- 施策
- 生産管理や在庫管理をはじめとする基幹業務のデジタル化に取り組み、製品の品質向上と効率的な生産体制を構築します
 - 社内で蓄積したデータを分析・可視化することで、データに基づいた戦略的な経営判断を実現します



DX推進体制

- 代表取締役がDX推進における統括責任者を務め、全社的に推進します
- 各部門でDX推進責任者を任命し、DX戦略・施策実行の中心的役割を担います



DX推進目標

- 紙の使用量：2024年度比 50%削減(～2028年3月)
- 事務作業時間：2024年度比 30%短縮(～2028年3月)
- 技術習得期間：2024年度比 50%短縮(～2028年3月)